

## 新成人からの意見・提案(H22.1.22 新成人との座談会)

## 新成人への問いかけ1

将来恵那市に住みたいと思いますか。どんなことがあれば住みたいと思いますか。恵那の魅力って何ですか。将来就きたい職業は何ですか。

- 恵那市は住みやすい町だ。将来も恵那市に住みたい。
- 理由は、地元のお祭りなどの行事が楽しくて、今後もずっと出たいから。また、都会(名古屋)はゴミゴミしていて疲れる。
- 都会は魅力的だが、住みたいかと言われると考える。
- 将来は実家から通ってできる仕事がしたい。
- 一方、将来は一度地元から離れてみるのもいいと思っている。ずっとここにいっても良さに気づきにくい。
- 若い人たちが魅力を感じるような住む場所が必要。長久手はきれいでおしゃれで住みやすそう。
- 恵那駅の電車の数を増やしてほしい。電車が停まる町にみんな行ってしまふ。恵那市は交通が不便だ。

もっと増えれば、恵那に住んでいても名古屋に通勤しやすい。

- 都会にはおしゃれな場所があり、同世代も多いから住みたい。
- 恵那が好きだが住めない。仕事のことがあるかもしれない。
- 大きい会社は都市部にある。今はあまり先が見えないから、いい会社に入るには名古屋、東京の方がいい。

### 新成人への問いかけ2

服はどこで買うのか。休日の過ごし方は。

- 洋服は大体名古屋で買う。
- 大学が名古屋なので買い物は名古屋です。ユニクロ、しまむらでもする。
- 休日はアウトドアで過ごす。キャンプやスノーボードなど。

### 新成人への問いかけ3

家族と一緒に暮らすことについてどう思うか。

- 一人暮らしをしたが、寂しかった。家族とは一緒に暮らしたい。

家族と過ごすとリラックスする。

- おばあちゃん子だった。今病気で土岐市に入院中。自分の町で面倒ができるとよい。

#### 新成人への問いかけ4

恵那はものづくり、生産業が多い。地元就職したいが場所がないという話だが、毎年開かれているビバ地場産業フェスタに行ったことがあるか。また、小中学校のとき、近所の会社に社会見学に行ったことはあるか。

- 産業フェスタには全員行ったことがない。知らない。
- 社会見学には行った。お弁当箱や牛乳をもらった。(テイネン工業さんや美濃酪連さん)

#### 新成人への問いかけ5

都会に住みたいという意見もあったが、行政区を選ぶ際、何か基準はあるか。

- 自然もあるし、お店やおしゃれなカフェがあれば、名古屋であっても、春日井であっても同じような場所があればよい。

- 住みたいところは見た目的なもので選ぶ。お店や企業、家賃など。この年齢で考えられるのはそこまで。
- 今恵那市には近いところにスーパーがいくつもあるが、若い人が残ろうと関心を持つもの(映画館、歓楽街など)が必要。
- 反対に、歓楽街はいらないと思う。土岐のアウトレットを見ると、あれがあるから土岐市に住みたいわけではない。自分たちに必要なものかどうか。
- 子どもを産むと父か母が産休をとる。子どもが産まれたときに奨励金があってもよい。恵那は産婦人科がないので、産婦人科をつくって産みやすい環境を作ると人口減少も抑えられる。

#### 新成人への問いかけ6

恵那市にほしい施設は何か。恵那市というと、どのあたりをイメージするか。都会に対するイメージは。

- ほしい施設とは。託児所。スターバックスコーヒー。スタバはおしゃれ。外国人も入りやすい。
- 都会とは。名古屋、大阪、東京を言う。アメリカにも住んでみたい。

- 恵那市とは。自分の住んでいる町から恵那市街地までの範囲をイメージする。他はあまり知らない。

### 新成人への問いかけ7

仕事を選ぶときにお金か雇用条件か、何を重視するか。

- 英語が好き。生かせる仕事につきたい。
- 自分の技術、力を生かせる仕事がしたい。自分の決めたことを使命感を持ってやりたい。
- 三交代ではなく、日勤のところ。自宅からの通勤距離も重視。
- 工場しかなかったなので、一番給料の高いところを選んだ。



座談会の様子

## まとめ

- 若い方からは恵那から出ていきたいという意見があまり出ず、むしろ将来も恵那市に住みたいという意見が多数。
- ここに来た人たちが特殊なのではなく、自分がこう生きたいというのを早めに持っているということ。
- 今は移動の自由がある。若い世代が都会のいいところと田舎のいいところを斟酌し、両立させて暮らしていく可能性が出てきている。施策としてはそこをプッシュする必要がある。
- 友達、結婚相手をつくるにも集まってくる場所が必要であり、そういう人を呼び寄せる場所やおしゃれな空間を自分たちで作る条件を用意してあげることが必要。
- 一方、就職に関してまだまだ地元の情報を知らない。地元企業のことを熟知していない。地元企業への興味が薄い。
- 地元企業のPR不足もある。積極的な就業促進策を企画し、地元就業や市内定住市外通勤を可能にさせる施策も必要。